

金融経済教育推進機構(J-FLEC) 講師派遣

活用事例集(金融機関等の皆さま向け)

【概要】

本事例集は、金融機関・金融事業者の皆さまに向け、当機構(J-FLEC)の講師派遣(出張授業・出張講義)をご活用いただく際の参考としていただくことを目的に、これまでの主な活用事例を取りまとめたものです。

作成に当たっては、ご利用いただいた金融機関等の皆さまへのアンケートとその回答の内容を基にしております。

(参考)金融機関・金融関係団体にご活用いただいた講師派遣の回数:約340件
(2024年10月~2026年1月末まで)

本事例集で紹介している事例以外にも、「このような場合にもJ-FLECの講師派遣を活用できるのか」といったご質問等がございましたら、末尾のお問い合わせ先までお気軽にご連絡ください。

※各事例について、個別金融機関名等は伏せさせていただきます。

J-FLEC 講師派遣

- ① 金融機関の業務紹介とJ-FLEC講義の組合せ
- ② 自治体が実施するイベントの一部として参加
- ③ 大学生向け寄付講座の一環として導入
- ④ 金融経済教育を提供する際の参考として実施
- ⑤ 自金融機関等の新人研修
- ⑥ 商工会議所の会員企業向け新人研修
- ⑦ 60歳以上・一般向け・公民館から情報発信
- ⑧ 職員向けDC教育での活用
- ⑨ 40~60歳以上・取引先等向けに情報発信
- ⑩ J-FLEC講師派遣代行入力の活用

【目次】

① 金融機関の業務紹介とJ-FLEC講義の組合せ

対象:中学生

③ 大学生向け寄付講座の一環として導入

対象:大学生

⑤ 自金融機関等の新人研修

対象:新人・中途入社職員

⑦ 60歳以上・一般向け・公民館から情報発信

対象:一般シニア層

⑨ 40～60歳以上・取引先等向けに情報発信

対象:取引先中堅～シニア層

② 自治体が実施するイベントの一部として参加

対象:小学生

④ 金融経済教育を提供する際の参考として実施

対象:小学生

⑥ 商工会議所の会員企業向け新人研修

対象:商工会議所の会員企業の新入社員

⑧ 職員向けDC教育での活用

対象:自金融機関の職員

⑩ J-FLEC講師派遣代行入力での活用

対象:主に学校

実施契機・目的

学校側からのキャリア教育への協力依頼に基づき、2022年から実施。金融リテラシー向上の重要性が高まっていることから、金融機関にて実施する地域貢献活動等の説明と、J-FLECから専門家による金融教育を合わせることで、より充実した講義内容になるとの考えから講師派遣を活用。

実施形態(時期、場所等)

中学校の職場体験学習の一環で、中学校内で実施。冒頭に当金融機関より職業講演会を実施のうえ、J-FLEC講師による講義を実施(対面、当金融機関とJ-FLEC講師の講義、質疑応答で計100分)。参加者(生徒)は25名。

実施後の感想

参加した中学生からは、「金融について正しい知識を得れて嬉しかった」「キャッシュとキャッシュレスのメリット・デメリットがわかった」等の感想をいただいた。2025年にJ-FLECの講師派遣を活用したが、2026年にも再度、J-FLECとの連携のもと同様の形式での講義を実施しており、参加した中学生からも同様の感想を得ている。本講師派遣は、他社にお勧めできる内容と考えている。

実施契機・目的

当金融機関の本店が所在する自治体と包括連携協定を締結し、地域課題に協働して取り組んでいる。子供の教育に対する当金融機関の会長の思いもあり、子ども向けに「宿題カフェ」等を実施しており、本件もその一環。J-FLECについては協会等からの通知があり知った。また、講師料・交通費が無料な点と、各種の資料が充実していた点、貯金箱作成キットやお小遣い帳の無償提供も好印象だった。

実施形態(時期、場所等)

自治体が小学生を対象に、自らの将来をイメージするきっかけづくりとして開催した体験型イベントの一環として、支店にて実施。対面で60分、参加者は父兄含め10名。「お金ってなに？」という基本から、おこづかいの使い方・貯め方まで、子どもたちが身近に感じられるような内容をクイズ形式で楽しく学んだ。工作として貯金箱作成も実施。市にはホームページやSNSにて周知および申込受付を担当いただいた。

実施後の感想

事前準備については、当金融機関のセミナー内容確認や、資料などの確認も適宜実施。セミナー当日は、講師の方から子供向けに丁寧に話してもらい安心できた。子ども達も楽しくお金の話を聴き、内容も理解できたと思う。他金融機関にもお勧めできる。

③ 大学生向け寄付講座の一環として導入

対象:大学生

実施契機・目的

2010年頃に、地元の大学と包括連携協定を結び、翌年から毎年寄附講座を14コマ程行っている。当初は、自社職員が持ち回りで登壇していたが、回を重ねるごとにブラッシュアップを図り、近年は取引先企業、財務局、自治体等にもご協力いただき、金融に限らない講座も増やしている。講師の方を選定していたタイミングで、財務局からJ-FLECをお勧めいただいたので、今回依頼した。

実施形態(時期、場所等)

大学で行われた、当金融機関の寄附講座のうちの1コマ。対面で100分で実施。参加者は約50名。

実施後の感想

近年、包括連携協定を結んでいる市町などからも金融リテラシーに関する授業やセミナーの開催依頼が増加してきており、自社職員を講師として様々な取り組みを行っている。引き続き、このような授業やセミナーが増加し対応しきれなくなった場合にはご協力いただきたい。

実施契機・目的

全国的に金融経済教育の必要性が高まっていることを受け、当金融機関としても金融経済教育への取組みを強化。各営業店から地域の学校へ向けて提案を行ったところ、今回のセミナーの実施が決定。J-FLECの講師派遣を活用することで、質の高い講義を体感し、内容や伝え方を学ぶ機会の創出と、当金融機関での金融教育の高度化・平準化を図った。

実施形態(時期、場所等)

学校内の教室において、クラス合同(グループワーク)やクラス別(座学)の形で実施。当金融機関の担当者も立ち会い、講師による指導内容および授業進行方法を確認したほか、生徒への声掛けや理解度確認などで講義に参加。また開催に先立ち、マスコミに向けてセミナーに関するプレスリリースを実施。

実施後の感想

J-FLEC講師の、声の抑揚や間の取り方などの話し方の工夫、また受講者の年齢や人数に合わせた柔軟な対応のほか、グループワークでの参加者を巻き込むための効果的な手法などを実際に体感でき、受講者側・講師側の両方の視点から学ぶことができた。授業後にはJ-FLEC講師から直接アドバイスを受けることもできた。J-FLECの講師派遣は、質の高い金融教育の実施や担当者のスキル向上に有効であると感じる。

実施契機・目的

協会よりJ-FLECのご案内をいただいた時から、活用方法を検討していた。コロナ禍以降、若手職員の研修がオンライン形式だけになり、職員等間の交流会などが開催されなかったことから、他金融機関と合同で、若手職員同士のコミュニケーションと金融リテラシー向上の研修会兼交流会として開催。

実施形態(時期、場所等)

他県を含む近隣金融機関の、社会人になって5年目くらいまでの若手職員、ならびに中途採用や転職者向けに、市内の研修施設を用いて、対面、120分で実施。参加者は14名。

実施後の感想

受講者は全員受講してよかった、という感想。テキストがかなりボリュームがあったが、わかりやすかったと思う。もっと新人の頃に受けているとより一層よかったのではないかと感じた。大学生や新社会人向けの内容なので、そういった方々にはよいと思う。

⑥ 商工会議所の会員企業向け新人研修

対象：商工会議所の会員企業の新入社員

実施契機・目的

商工会議所向けに、当金融機関の職域セミナーやJ-FLECのご紹介をしたことをきっかけにお話を頂いた。当社では、社会人向けセミナーを実施するための教材・講師が十分ではなかったため、J-FLECの講師派遣を利用した。職域でのセミナーについては推進部門が職員の負担軽減やより高度な知識の提供を狙い、アウトソーシングを進めている。

実施形態(時期、場所等)

地域の雇用対策協議会の主催で、研修の委託を受けた商工会議所が、周辺自治体も含めた商工会議所会員の新入社員および若手層社員を対象としたフォローアップ研修の1コマとして、市内の会議所にて対面、50分で実施。参加者は約20名。会員企業宛に告知が行われ、各企業において対象となる参加者に声掛けが行われた。

実施後の感想

全ての講師派遣に共通して言えることだが、中立・公正であるため、参加者も営業を気にせず受講できているようだった。受講者は講師の話に相づちをうちながら聞いている様子で、内容も満足のものだったと思う。商工会議所等地域企業へのJ-FLECのご紹介は、十分にお勧めできるものだと思っている。何より、純粋な学びの機会となると考える。とはいえ、その前段階の「なぜ必要か」という点が中小企業には届きにくいという課題がある。

実施契機・目的

当金融機関の支店長が、金融経済教育実施のため、市役所の生涯学習課を訪問。市公民館の利用者向けに金融経済教育を行うこととなった。公民館にテーマのアンケートを取った結果、J-FLECのテーマが選ばれた。J-FLECの資料を使用するため、講師も依頼することとした。

実施形態(時期、場所等)

市内の5か所の公民館で、金融経済教育に関する講義を提供をした。対面60～90分、参加者は合計242名。各公民館が公民館利用者にセミナーの情報提供をし、集客していただいた。当金融機関職員も参加し、支店内で勉強会を開催、講義内容を共有した。

実施後の感想

セミナー後に、「今、何が起きているか知ることができた、講義を受けて良かった」と、声をかけていただけの利用者が多くいた。中には、複数の公民館セミナーに参加された方もいた。とても分かりやすい内容であったため、お勧めできると思う。

実施契機・目的

当機関は企業型DCを導入しており、従業員への継続投資教育が法令で努力義務として定められていることから全従業員向けに研修を実施する際に、J-FLECの講師派遣を活用。J-FLECには、過去お客さま向けイベントの講師を依頼しており、その際の説明が分かりやすく、お客さまからも好評だったため、再度依頼をすることとした。

実施形態(時期、場所等)

全体を二部構成で実施。第一部の「一般的な年金・退職金の基礎知識、日本の年金制度(公的年金・私的年金・ねんきん定期便)、DC・DB・iDeCoの違い」の説明をJ-FLECに依頼。第二部では当機関の退職金・年金制度、投資環境の振り返りについて、当機関DCの運営管理機関に講師を依頼した。本研修は講義内容を動画収録し、期間内に従業員が業務用スマートフォンで視聴。

実施後の感想

偶然だが、講師の方が当機関のOBだったこともあり、事前の打ち合わせから当日の収録までスムーズに進めることができた。J-FLECには、こちらの要望にもご対応いただき助かった。話も分かりやすく、講師派遣を他社にもお勧めできる。

実施契機・目的

以前(少なくとも5年前)より、金融広報委員会のご協力のもと、お客様を対象にした金融リテラシーの定期セミナーを開催。その流れから、J-FLECをご紹介いただき、今回の応募を行った。

実施形態(時期、場所等)

当初、当社取引先に限定したセミナーとして開催するつもりだったが、取引先を中心としつつも、一般の方もご参加できる形式に変更を行い、対面形式で90分の実施。参加者は約30名。

実施後の感想

良かった点としては、対面でお話を伺う点で、やはりWebセミナーにはない現場の空気感を見ながら話の強弱を付けていただけたところ。悪かった点としては、内容が幅広すぎるせいで、それぞれの項目(テーマ)が表面だけをさう感じで、うすい印象が強かったのは残念だった。

実施契機・目的

当金融機関は、経営方針のうち、地域貢献軸として金融経済教育の推進が評価項目に入っている。数値目標は定めず、教育内容(中身)で支店の評価を相対的に決めている。本部や支店の行員が、主に学校向けに講師を務めているが、リソース(ヒト・モノ)の問題があるので、リソースの不足分を、J-FLECに、[代行入力](#)の形で依頼。

実施形態(時期、場所等)

【個別の事例ではなく、当金融機関の一般事例として】

私立高校、大学の方からお声がけをいただくことが多い。公立学校は、講師派遣をご依頼いただくハードルが比較的高い。講義内容としては、金融トラブルに特に注力している(警察署との連携実績もある)ほか、Uターン就職や、当地日銀支店と連携したイベントも実施した。

実施後の感想

当金融機関として、2025年4月から2025年12月時点での講師派遣が107件、ほかにJ-FLECに依頼(代行入力)した案件が43件ある。リソース負担の軽減のほか、講師経験のない行員がJ-FLECの講義に同席することでスキルアップにも繋げられる。J-FLECは、小学生から社会人、高齢者まで幅広い層にあったコンテンツを有しており、お客様のニーズに対応しやすい。他方、派遣依頼が45日前までの申込と制約が大きい点と、特に学校向けでは、授業時間の制約もあり、講義形式(一方通行)になりがちな点はデメリット。

お問い合わせ先

- 本事例集の内容※¹や、「このような場合にもJ-FLECの講師派遣を活用できるのか」といったお問い合わせについては、下記までお気軽にお寄せください。
 - ✓ J-FLEC経営戦略部経営企画G
 - ✓ <https://www.j-flec.go.jp/contact/>
 - ✓ (電話番号)03-3231-1210:一般受付となります。
- また、講師派遣のお申込にかかる一般的な情報に関しては、下記をご覧ください。
 - ✓ (お申込ページ) <https://www.j-flec.go.jp/instructors/>
 - ✓ (代行入力※²) https://j-flec.go.jp/wpimages/uploads/manual_proxy.pdf
 - ✓ (Q&A) https://www.j-flec.go.jp/wpimages/uploads/QA_financial_institutions_260126.pdf
 - ✓ (マニュアル) https://j-flec.go.jp/wpimages/uploads/instructors_guide_v2.pdf
- 金融機関・金融事業者の皆さまへの情報(上記の情報を含む)は、以下のページにまとめております。
 - ✓ (ウェブページ) <https://www.j-flec.go.jp/about/omonajigyo/particular/finance/>

※1:各事例について、個別金融機関名等は伏せさせていただいております。

※2:J-FLECの講師派遣については、金融機関等の担当職員が、学校や地域施設(公民館)などの派遣希望先に代わって入力する「代行入力」によるお申込も承っており、その際の入力方法について解説した資料です。